

## 東北大学若手研究者アンサンブル定期発表会 2018 を開催しました (2018/6/8)

テーマ：東北大学附置研究所・センター連携体，研究所若手アンサンブルプロジェクト，分野横断

場 所：東北大学加齢医学研究所

URL：附置研究所・センター連携体 <http://web.tohoku.ac.jp/aric/index.html>

研究者マッチング [http://web.tohoku.ac.jp/aric/search/data.php?c=s05\\_index](http://web.tohoku.ac.jp/aric/search/data.php?c=s05_index)

6月8日（金）東北大学加齢医学研究所にて，アンサンブル定期発表会 2018 を開催しました。本発表会では，昨年度の研究助成を獲得した研究について，2件の口頭発表と12件のポスター発表がありました。本発表会へは一般参加者として橋本雅和助教（災害リスク研究部門），佐々木大輔助教（情報管理・社会連携部門），寅屋敷哲也助教（人間・社会対応研究部門），稲葉洋平助教（災害医学研究部門），WG 委員として今野明咲香助教（災害理学研究部門）が参加し，全体で約50名の参加がありました。

開始に先立ち，今年度の附置研究所・センター連携体の主幹研究所である当研究所の今村文彦所長（災害リスク研究部門）が，「附置研・センター連合体の活動と若手研究者アンサンブルプロジェクト」という題目で，附置研究所・センター連携体の設立の経緯や目的，アンサンブルプロジェクトの活動内容について講演しました。

また，アンサンブルプロジェクトワーキンググループ委員の今野明咲香助教（災害理学研究部門）より，今年度の新しい企画として，共同研究を進める上での新しい支援ツールである「研究者マッチングサイト」の紹介がありました。

グラント採択者による研究発表は，いずれも分野に捉われない新しい観点からの研究であり，ポスター発表でも活発な議論が行われました。本発表会を通して，研究所だけでなく研究科所属の若手研究者とも交流がなされ，学際的な共同研究へ向けた議論が積極的に行われました。今後，分野や所属を越えた研究がさらに促進され，新たな発見や研究の発展につながることを期待されます。



今村所長による挨拶と講演



今野助教による共同研究支援ツールの紹介



若手研究者によるポスター発表 1



若手研究者によるポスター発表 2

文責：今野明咲香（災害理学研究部門）